

1. 件名：高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する検討チームに関する面談（12）

2. 日時：令和5年5月31日（水）15：30～18：00

3. 場所：原子力規制庁8階会議室

4. 出席者（※一部テレビ会議システムにて参加）：

原子力規制庁

技術基盤グループ 技術基盤課 照井課長補佐

システム安全研究部門 小嶋上席技術研究調査官

皆川副主任技術研究調査官

原子力規制部 原子力規制企画課 藤森企画調査官、湯澤課長補佐、市川係長、

小西係長、伊藤係長、今田係員

審査グループ 実用炉審査部門 塚部上席安全審査官

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子力発電部門 保全計画グループ マネジャー 他10名※

原子力エネルギー協議会 部長 他1名

5. 要旨：

○原子力事業者等から、長期施設管理計画の記載案の検討状況について、前回面談（令和5年5月25日実施）からの修正点を中心に、資料に基づき説明があった。また、原子力事業者等として第6回検討チームにおいて原子力規制庁が提示した資料について、意見提出をしたいとの申し出があった。

○原子力規制庁から、劣化点検の結果について点検の内容が分かるように記載すること、劣化評価に用いる文書の出典を記載すること等を伝えるとともに、長期施設管理計画の記載案について引き続き検討するよう伝達した。

また、前回面談において原子力事業者等から確認のあった追加点検に係る事前確認の考え方及び特別点検の実施時期の考え方について、説明した。

○原子力事業者等から、了解した旨の回答があった。

6. 配布資料

資料 長期施設管理計画（案）